



Optical-probe-Electric-Current-Sensor

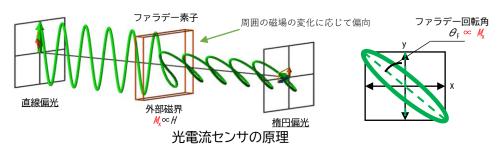
光プローブ電流センサ



- ●極小センサヘッド(最小φ0.45mm)
- ●アイソレーション電流測定に対応
- ●広帯域(DC~150MHz)
- ●測定可能電流±140A~
- ●50Ω BNC入力を備えた全オシロスコープで使用可能

OpECSについて

OpECSは、電流の周りに発生する磁場をファラデー効果により捉えることで、電流測定を可能にする光プローブ電流センサです。センサヘッド部に磁場が存在すると、直線偏光は磁場の影響を受けてその振動方向が変化します。振動方向は磁場の向きに従って楕円軌道を描き、その方向変化は磁場の大きさに比例します。

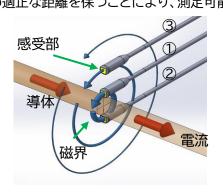


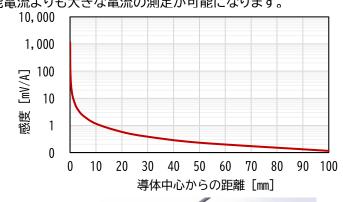
楕円形に偏光した光の情報は後段の本体(コントロールユニット)に送られ、光信号から電気信号に変換されます。 この信号を50Ω終端のBNCコネクタを備えたオシロスコープなどに入力することで、電流の測定が行えます。

OpECSの感度と測定電流範囲

【導体とセンサの位置関係】

下左図①のように、導体の中心に感受部を接触させると最大感度が得られます。導体を流れる電流の向きに対して、①のように配置した場合は正の出力が得られ、②のように配置した場合は反転した出力が得られます。 ③のように導体中心から離れた場合は磁界が弱まり、下右図のように感度が変化します。 このため適正な距離を保つことにより、測定可能電流よりも大きな電流の測定が可能になります。



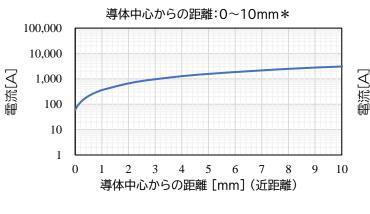


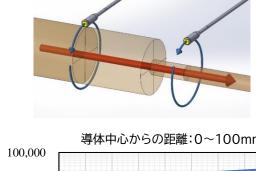
【導体中心とセンサ間の距離の差異】 導体中心と感受部までの距離が一定であれば、 右図のように導体径が変わっても感度は変化しません。

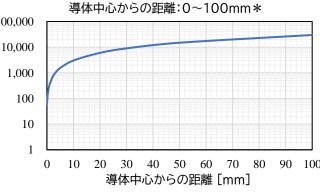
【直線性】

±140Aまで±1%の直線性を維持します。

【測定可能電流範囲】





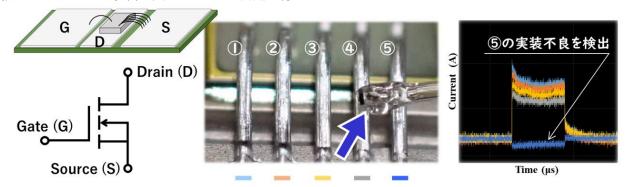


*: φ0.5mm銅線に接触させて測定

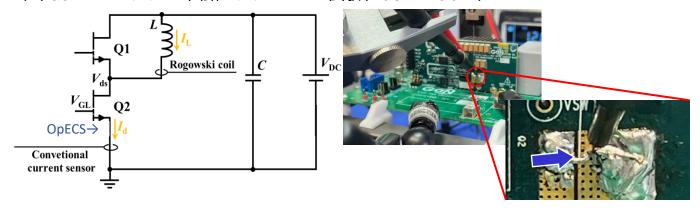
OpECS実測事例

(1)パワーデバイスのワイヤボンディング電流波形(ソース-ドレイン間、 ϕ 300 μ m)

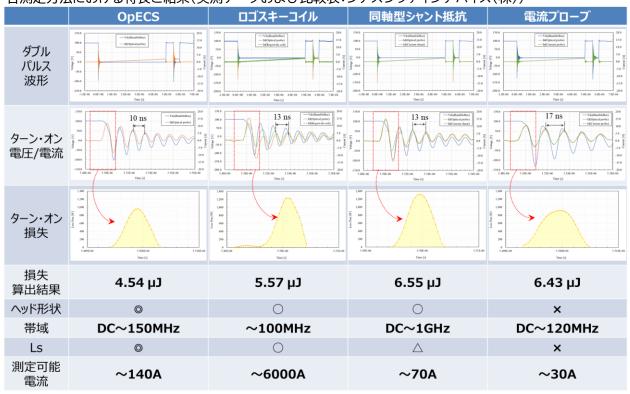
ソース-ドレイン間の5本のワイヤに対して、それぞれ電流を測定しています。 隣接したワイヤからの影響を受けることなく測定が行えます。



(2)GaNハーフブリッジ回路のダブルパルス試験(Vds = 100 V)



各測定方法における特長と結果(実測データおよび比較表:シチズンファインデバイス(株))



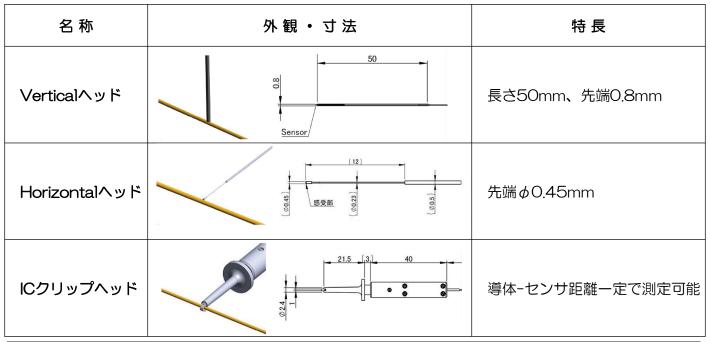
OpECS 仕様

項目	仕 様	備考
【本体】		
周波数帯域	DC~150 MHz (-3dB)	
測定可能電流	±140 A*	センサと導体中心の距離に応じて、 左記測定可能電流を超える測定も行えます。
感度	25.78 mV/A * (0.073 mV/A·m ⁻¹)	-
出力電圧範囲	±4.7 V	-
ノイズ	6.3 mVrms	無入力時、帯域200MHzの測定器にて
直線性	±1 % *	-
出力コネクタ	BNC	オシロスコープ入力:50Ω終端 **
使用温度範囲	-10 ~ +50 ℃	センサヘッド部
使用温度範囲	+15 ~ +35 ℃	コントロールユニット部
電源電圧	AC100~240 V (50/60 Hz)	-
消費電力	11 W	-
【 センサヘッド 】		
先端形状(φ×L)	φ0.45 × 1 mm	(代表値)
質量	約 5 g	
【 コントロールユニット 】		
寸法(W×L×H)	158.0 × 254.0 × 108.0 mm	(突起物は含みません)
質量	約 2 kg	

^{*} Φ 0.5 mm銅線に接触させて測定

オーダーインフォメーション

- ■OpECS 本体(コントロールユニット)
- ■センサヘッド(下記3種)



[※] 製品を廃棄する場合には、地方自治体の条例・規則に従って廃棄してください。

- ●製品改良等により、外観および性能の一部を予告なく変更することがあります。 お問い合せは、下記当社営業部および営業所または取次店へお問い合わせくださ
- ●ここに記載しました内容は、2025年3月現在のものです。●価格は変更の可能性があります。ご注文の際にはご確認を頂けますようお願い申し上げます。

URL: https://www.iwatsu.co.jp/tme T&Mカンパニー T&M営業部

- ■計 測 営 業 課 〒168-8501 東京都杉並区久我山1-7-41 TEL 03-5370-5474 FAX 03-5370-5492
- ■アカウント営業課 〒168-8501 東京都杉並区久我山1-7-41 TEL 03-5370-5474 FAX 03-5370-5492
- ■国際営業課〒168-8501東京都杉並区久我山1-7-41 TEL 03-5370-5483 FAX 03-5370-5492 ■西日本営業所 〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町2-3-6山岡ビル1F TEL 06-6535-9200 FAX 06-6535-9215
- ■中日本営業所 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 3.7-33(アカモンビル) TEL 052-228-3834 FAX 052-951-3576

^{**50} Ω フィードスルー終端器を使用することで、1 $M\Omega$ 入力のオシロスコープでも利用できます。